

## 志賀原子力発電所1号機 復水器の点検・補修の終了について

平成16年6月28日  
北陸電力株式会社

志賀1号機は、復水器出口導電率がわずかに上昇したことから、復水器内へ海水が混入しているものと推定し、平成16年6月25日より電気出力を約13万5千キロワットまで低下させ、復水器内の点検・補修を実施することとしました。（6月25日お知らせ済み）

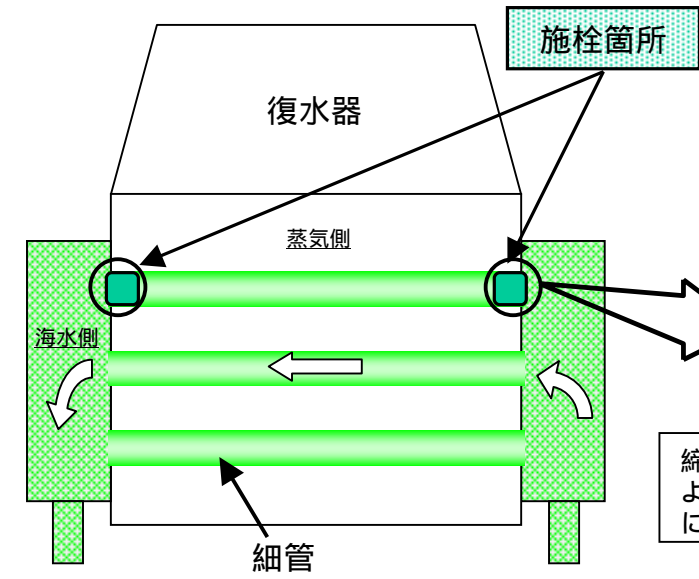
点検の結果、復水器の細管1本に漏えいが認められたため、昨日（6月27日）、当該細管に海水が流れないように施栓する補修作業を行いました。また、予防保全の観点から、念のため当該細管の周辺22本の細管についても施栓いたしました。

復水器は、十分な蒸気の冷却性能を有していることから、施栓による復水器の性能への影響はありません。

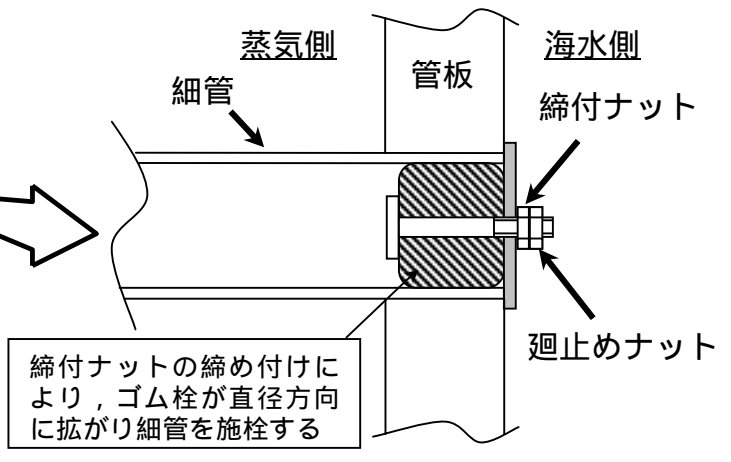
次回定期検査時に当該細管の詳細な調査を行う予定です。

本日（6月28日）午前6時に出力上昇を開始し、7月1日に定格熱出力一定運転に復帰する予定です。

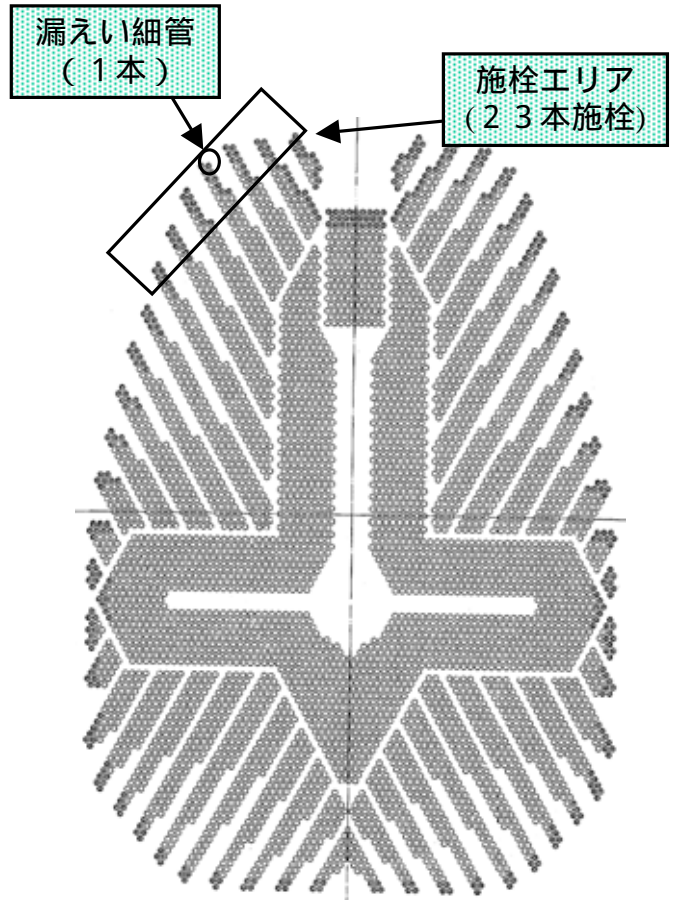
以 上



復水器側面  
 放水口へ  
 循環水ポンプより (海水)



施栓概要



復水器細管の配列



漏えい検査状況

< 漏えい検査の概要 >  
 細管端部にシェービングフォームのような泡まつを塗布する。  
 復水器内部が真空であるため、漏えいのある細管の泡まつは吸い込まれ、漏えい細管が確認できる。

復水器点検・補修概要